

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査事業等)

平成24年4月24日

協議会・構成員 山辺町地域公共交通会議

山辺町、山形県、山形運輸支局、山形警察署、住民代表

山形県ハイヤー協会、山形県バス協会、山交バス(株)

山形交通圏連絡協議会、山形県交通運輸産業労働組合協議会

事業名	調査事業の結果概要	調査事業実施の適切性	生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針
山辺町生活交通ネットワーク計画策定調査業務(地域公共交通調査事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口推移、高齢化率、交通不便地域等を調査し、潜在的に公共交通の需要が想定される地域を把握した。</li> <li>過年度に実施されたアンケート調査を分析し、住民の移動ニーズを把握し、具体的な運行ルートの検討に反映した。</li> <li>地域の課題を整理し、現況のコミュニティバスの運行形態を見直し、利便性の高い効率的な町営バスの運行形態について検討した。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域内フィーダー系統確保維持改善事業に向けて、既存のコミュニティバスを効果的に活かしながら生活交通ネットワーク計画策定に向けた必要な調査ができた。</li> </ul>	<p>平成25年度、地域内フィーダー系統確保維持改善事業費国庫補助金の申請を予定</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在運行されているコミュニティバスについて、調査結果に基づき、朝夕の通勤通学需要に対応したシャトルバス及び市街地内循環バス(毎日運行)の役割分担を明確にし、ルートを見直す。</li> <li>新たに、山間部地域においてデマンド型乗合システムの運行を行う。</li> </ul>

## 【各評価項目の評価基準】

### 事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

# 平成23年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 (地域公共交通調査事業) 山辺町地域公共交通会議



## 山辺町の概要

- 山形市の北西に隣接
- 人口 15,139人（平成22年10月1日現在）
- 面積 61.36平方キロメートル

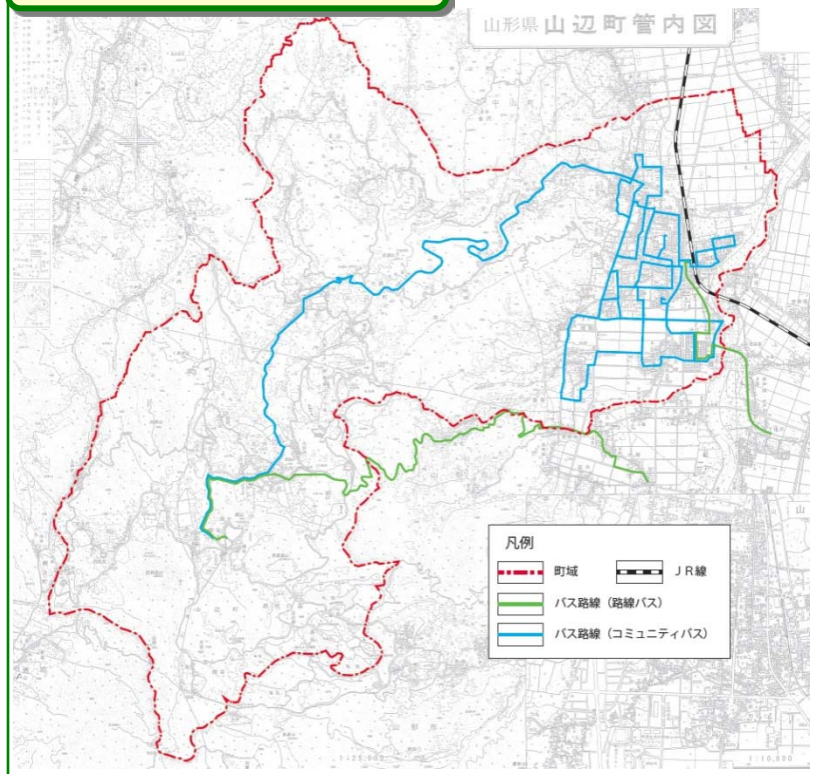
## 山辺町地域公共交通会議の構成員

山形県 山辺町 山形県バス協会 山形交通圏連絡協議会  
山交バス(株) 山形県ハイヤー協会 東北運輸局 山形警察署  
住民代表 山形県交通運輸産業労働組合協議会

## 地域公共交通の現状

- ・鉄道：JR左沢線
- ・4条バス路線：山交バス、山辺町営バス（80条）
- ・福祉移送サービス等

## 地域公共交通の現況



## 具体的な課題・問題点

- ・市民の日常生活の足の確保（移動困難者への対応）及び地域の活性化に資する持続可能な公共交通の整備
- ・わかりやすく効率的な路線網・望ましいサービス水準への見直し、再編
- ・各公共交通機関の役割分担の明確化と既存送迎車両の有効活用
- ・利用しやすくわかりやすい情報の提供



## 調査事業の実施

## 調査事業の概要

- ・現況調査
- ・住民アンケートの分析
- ・コミュニティバス乗降調査
- ・山辺駅乗降調査
- ・需要予測
- ・生活交通ネットワーク計画の作成

# 平成23年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 (地域公共交通調査事業) 山辺町地域公共交通会議

## 交通会議における検討

- 会議の開催状況 4回開催
- ・ 第1回 (6月17日) 調査の進め方の確認
  - ・ 第2回 (8月24日) 調査企画内容について
  - ・ 第3回 (1月17日) 計画素案について
  - ・ 第4回 (3月12日) 計画案について

## 地域住民の意見の反映

- ・ 各地区の住民などで組織されたバス懇話会の開催 (3回) やパブリックコメントを実施し、要望・意見を取り入れた。
- ・ 過年度に実施したアンケート調査を分析し、町民ニーズを把握した。584人の回答を集計 (回収率48.3%)。

## 事業実施の適切性

- 事業が計画どおり適切に実施された。
- ・ 地域内フィーダー系統確保維持改善事業に向け、生活交通ネットワーク計画策定に必要な調査ができた。

## 調査事業の結果の概要

- ・ 人口推移、高齢化率、交通不便地域等を調査し、潜在的に公共交通の需要が想定される地域を把握した。
- ・ 過年度に実施されたアンケート調査を分析し、町民の移動ニーズを把握し、具体的な運行ルートへの検討に反映した。
- ・ 地域の課題を整理し、現況のコミュニティバスの運行形態を見直し、利便性の高い効率的な町営バスの運行形態について検討した。



## 生活交通ネットワーク計画の 計画策定に向けた方針等

平成25年度、地域内フィーダー系統確保維持改善事業費国庫補助金の申請を予定

- ・ 現在運行されているコミュニティバスについて、調査結果に基づき、朝夕の通勤通学需要に対応したシャトルバス及び市街地内循環バス (毎日運行) の役割分担を明確にし、ルートを見直す。
- ・ 新たに、山間部地域においてデマンド型乗合システムの運行を行う。

